

水と緑の町として、また中心市街地の活性化を目的に「水の都土浦」の独自性を現代に生かしたモールであり、土浦を訪れた人びとが十分楽しめる場となっている。



土浦市は古くは城下町として栄え、戦前には海軍航空隊の基地としてその名が親しまれていた。最近では茨城県南地域の中心地としてのみならず、首都圏六〇キロ圏の核都市の一つとして発展を遂げている。市の商業をとりまく環境は、大型・中型店の進出に裏付けられるように、近年の急激な人口増加とそれに伴う商圏の広がりが着実に進んでいる。また、筑波研究学園都市の玄関口としても位置づけられ、さらに六〇年に開催された科学万博のホストとして重責を果たし、今後ますますの

発展が期待されている。川口ショッピングモールは、土浦駅前に位置し、市の都市基盤整備の一環として、高架街路建設に伴う移転で旧祇園町商店街が中心となって入居した「ザ・モール505」と一体的に整備された。ここでは高架下というイメージを柔らげるため、橋脚のデザインに配慮し、歩道部分はすべてカラー平板舗装でマイル張りを施し、「水と緑の活力にみちた、ぬくもりのある土浦」にふさわしい中心市街地のシンボリック存在となっている。



データボード⑥7

- ① 茨城県土浦市川口1丁目
- ② 土浦市役所 ☎0298-21-3510
- ③ 延長470m、面積12,000㎡、幅員20~40m
- ④ 歩道および車道
- ⑤ 桜まつり、さつきまつり、土浦祇園まつり、湖上まつり